

委員それぞれが感じる現状・課題の分類及び要約

理想<目指す姿> 「学校が地域のキーステーション(重要拠点)」との認識のもと、学校施設の有効活用に取り組み、歩ける距離に身近な相談窓口や居場所の確保などの行政サービス機能を身近に受けられる、 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち を目指します！		
🏫【1. 学校施設及び西原総合施設の多機能化と災害対応】		
	原文	要約
現状	・学校施設の利用がしにくい ・西原総合施設の利用勝手が素晴らしい。 →当日でもOK →予約もOK - 集まりやすい環境として満点!! - ただ、周知不足のように感じる - こういう場所が要されていると多様なものが生まれるきっかけになる。 ・どんと焼き、夕涼み会、もちつき会の場所としてグラウンドを利用している ・中学生は増えるのか ・住民と学校の導線をきちんと考えていく ・貸館機能がある場合、例えばアリーナを地域の人が使用したいとなった時に学校施設に入ることなく利用できるようにしていく	・学校施設の利用が不便 ・利便性の高い西原総合教育施設
課題	・学校施設との住み分け ・中学校の施設は小学校より貸し出しが少ない ・災害(避難)場所として利用できるか?(遠い) ・災害時は利用がどうなるのか ・教育施設に併合されると、多様性が制限される恐れ有。 ・学校内の安全の確保 教育施設のセキュリティ ・子供食堂を設けて、人々の交流を増やす 中学校調理室活用 ・中学校の部活 しっかり活動	・学校施設への動線設計が必要 ・学校施設の多様性・多機能化の実現 ・学校施設のセキュリティ対策(安全の確保) ・災害時の利活用 ・部活動の充実
👨👩👧👦【2. 子育て環境の整備と子どもの居場所づくり】		
現状	・「お年寄り」と「子供」の共通の考えがない 核家ぞくが住んでいる ・今の子供は忙しい ならいごと多く ただ遊ぶだけが少ない ・ゆっくり過ごす(子連れで)所があまりない ・路地は子供の遊び場 ・子どもたちの自然との触れ合いの機会が多くもてない ・子どもたちの安全な遊び場が少ない ・子どもたちのスポーツ施設が少ない ・子どもたちの人数がへっている	・世代間理解の不足 ・子どもと自然の触れ合いの機会が少ない ・子どもたちの遊びまたはスポーツの機会や場所少ない ・子どもの減少傾向
課題	・現在2つある 学童クラブが 西原地区にもできるのか ・子供達は「じゅく」ばかり、教育について考えるべき ・共稼ぎが多いので子供たちの孤立がある ・子供達が遊ぶ場がない ・子ども 高齢者自然なつながりが発生する場を作りたい ・子育てがしやすい環境づくり ・子育てでの相談ができる親同士のコミュニティづくり	・学童クラブの地域展開 ・教育の広域的な観点での見直し ・共稼ぎによる子どもの孤立 ・遊び場や世代交流の場の創出 ・子育て環境の整備 ・親同士の相談コミュニティ形成
👴👵【3. 高齢者・障がい者の社会参加】		
現状	・障がい者への心くぼりの支援 ・やや高齢化が進んでいる地域 ・夏まつりとかシニアに対するボランティアをやっている	・障がい者に配慮した支援の実施 ・増加傾向にあるシニアに向けてのボランティア活動
課題	・ご高齢の方の 活やくの場 ほっとできる場 作りたい ・ひきこもり高齢者には単純な発信が届かない 直接的にお願い 働きかけが必要 ・高齢化に対応した施設が必要 ・お年寄りには、人間関係が難しい ・お年寄りが行かない 行く「きっかけ」がない	・高齢者が活躍する場の創出 ・孤立する高齢者との施設やコミュニティの創出
🏡【4. 地域コミュニティの促進と交流の場の創出】		
現状	・世代を超えた繋がりを得にくい ・新青梅で分断 交流する場が少ない ・一戸建ての人は特にコミュニティに入りづらい ・地域の住民のコミュニティの係わりが少ない ・日中人通り多い半面、家から全く出ない人も多い ・路地でのコミュニケーションは豊富 顔がわかる関係	・地域住民及び世代間のコミュニケーション不足 ・新青梅街道の南北地域で交流がない ・路地でのコミュニケーション
課題	・世代を越えて 集える場所 ・もう少し地域の人と交流出来る場があれば ・活動メンバー 募集してくる人は少ない 口コミ頼み ・集まる場所づくり ・地域コミュニティづくりが大事 ・地域の人が便利に使いやすい場所が必要	・世代を超えた地域交流の場づくり ・地域活動メンバーの募集
🛣️【5. 交通・ネットワークの形成】		
現状	・道路が不備のため(段差等)通うのが大変 ・駅から遠い ・はなバスが通らない ・通学路に危険な場所がある	・道路及び通学路の段差などによる通行困難 ・駅やバス停から遠い
課題	・交通便が不便 バス停が遠い ・エリア構想 移動できることが大前提。交通網の整備をお願いしたい	・道路及びネットワークの整備
🏢【6. 利便性のある行政サービスと身近な相談体制の充実】		
現状	・ワンストップサービスがあまりない ・行政サービスを役所に行かなければ受けられない ・目的によって行く場所が違う	・ワンストップサービスが少ない ・目的によって、施設や役所へ行かないとサービスを受けることができない
課題	・西原地区の人にとっては芝久保図書館も遠いと思っている人がいる ・周知・シンプルな手続き・手ごろな価格 ・気軽にに行ける場所ではない→場所にしてほしい ・とにかく気軽に 使いたい。 ・相談する場が よくわからない ・行政(市役所)機能との一体化が必要 ・ここに行けば 何でも解決する所がほしい ・開放施設が 誰でも利用しやすくする ・複合施設に図書館 規模は小さくてもあると便利ではないか ・各課の機能が入ってくるので横のつながりを持っていってほしい	・複合化及び多機能化された施設の利便性 ・行政による適切な管理 ・相談窓口の周知
🌳【7. みどりの保全と自然環境づくり】		
現状	・路地園芸 ・グリーンハイツの方は自然公園によく来る 青梅街道南の人はあまり来ない	・路地園芸がある ・西原自然公園利用者の偏り
課題	・西原自然公園と生徒をもっと結びつけたい ・緑地を保全、豊かな住環境を確保 ・管理のための資金、助成金はもううが持ち出し手弁当も	・西原自然公園と学生の関係強化 ・緑地、豊かな住環境の保全及び確保
🏹【8. 地域スポーツ活動の場の創出】		
現状	・ソフトボールの練習場所として利用している(西原総合教育施設) ・クラブ活動場所として西原総合教育施設を利用している ・スポーツクラブ 会員約1000人いる	・西原総合教育施設をスポーツの場として利用 ・会員数約1000人の西原スポーツクラブ
課題	・スポーツをするための場所の創出 ・三中建替えて活動の場所がなくなる、制約を受けるのは困る ・総合教育施設なくなるのは西原スポーツクラブとして大問題 ・総合教育施設見直しを早くしてほしい ・総合教育施設の長期利用ができないのは困る	・スポーツするための場の保全及び創出 ・西原総合教育施設の早期見直し ・西原総合教育施設の早期見直しとスポーツクラブの存続
🏠【9. 住宅団地の再生】		
現状	・理事会の下に委員会を設け課題に対処している	・課題解消のため理事会の下に委員会を設置
課題	・GH(西原グリーンハイツ)に若い人が入ってほしい ・住民の高齢化に対応出来る理事会体制はいかにあるべきか ・GHの居住者が安心にくらしてほしい ・GHの管理費・修繕積み立金を維持する ・一団地都市計画を地区計画に変えてほしい	・若年層の入居促進 ・高齢化対応の理事会体制 ・安心な住環境及び管理費維持 ・適切な都市計画
🏠【10. その他・エリア構想検討】		
現状	なし	なし
課題	・<誰もが>というワードは、教育と共存できるのか。 ・「理想」とされる活動・表現に 限定されてしまいそう。	・理想と教育の共存 ・理想にとらわれない構想の策定